市立多摩川小学校のシミュレーション(第三版)

(多摩川が氾濫した際に影響の出る学校)

1 学校現況等

周辺環境: 品川通り南側,鶴川海道に近い。周辺住宅街。多摩川沖積低地に立地,多摩川

とは500mの距離にある

学校概要: 22クラス,児童696人。教職員(教員・事務)32人,市職員(栄養士・

技能主事2人(臨時,嘱託含まず)

教員の対応: 教職員自身の子供の引き取り、家族救護等でやむを得ず1日目の終業時間後に

帰宅することを想定する(40%減,32人→19人)なお、帰宅した職員

については、各職場で事前に状況を把握し、交代で出勤する体制を組む。

学区域人口: 約8,200 人, 夜間人口約12,000 人

収容可能人数: 一時収容 780人,長期滞在 390人(地域防災計画による)

特記想定事項: ●多摩川による水害 (調布市洪水ハザードマップによれば浸水2m)

※低地に立地する学校の飛田給小、多摩川小、布田小、第五中は浸水

50cm~1m, 杉森小, 染地小, 第三中が浸水2m地帯に当たる。

●地震による液状化現象 多摩川低地は液状化現象が想定される区域ではあるが、東京都土木技術支援・人材センターの公表データでは、影響はないと

判断されている。

2想定される係〈全体責任者:学校長 〉

児童対応班(責任者:生活指導主幹)

担当	業 務 内 容	担当者
情報連絡	人的・物的被害その他の異常事態を各係から報告を受け、学校長及び災	副校長
係	害対策教育部へ連絡する。その他、災害に係る情報を収集し、関係者に	防災担当
	連絡する。	
避難誘導	校庭(体育館)に避難誘導に当たる。広域避難所までの避難経路の確認	生活指導主
 	を行う。児童の引渡しを行う。行方不明の児童の捜索を消火・巡視係に	任
が	依頼する。	訓練担当
消火・巡	校舎の被害の確認,行方不明の児童の捜索,初期消火,火元の遮断,出	専科
視係	火防止対策,火災の警戒,ガス,水道等の元栓や理科薬品保管等の点検	5 /17
	を行い、点検結果等を情報連絡係に連絡する。	
	養護教諭を中心とする。救急薬品の確保,軽傷者への救急措置に当たる。	
救護係	重傷者については、応急手当を行い、災害対策本部、医療機関、医療救	養護教諭
	護所又は仮救護所に速やかに連絡をとるよう情報連絡係に指示する。心	
	のケアへの対応をする。	
搬出係	重要文書の搬出。校舎内での火災や校舎への延焼のおそれがある場合	都事務・栄養士・技能主事
加以山水	は、非常持ち出し品を搬出し、管理する。なお、非常持ち出し品を搬出	147 177 177 177 177 177 177 177 177 177
	する事態が生じない場合は,他の係への応援要員とする。	

避難所支援班(責任者:副校長 ●●)

担当	業務內容	担当者
総務・情	・避難所運営本部設置場所の決定・避難所運営連絡会の設定	副校長
報係	・情報の収集、整理、確認及び伝達・避難所内の情報提供場所の設置	生活指導主
報が	・避難者名簿の作成、整理、管理・市災害対策本部との連絡調整	任
2025年11日	・避難所に使用するスペース・立ち入り禁止区域の指定	壮松
避難所	・避難者の誘導・避難所生活のルールの策定	技能主事・専科
係	・ボランティアの組織化	
物資係	・防災備蓄用品の管理,配給・救援物資の受入れ,整理,管理,配給	都事務
初貝尔	・飲料水,生活用水の確保,配給・炊き出し	栄養士
	・医療救護所設置場所の事前確認	
救護・衛	・医療救護所への協力	養護・専科
投護・関生係	(設置されない又は設置されるまで応急手当の実施)	食暖・号付
土体	・仮設トイレの確保・設置・トイレ用水の確保	
	・トイレ, ごみ集積場の清掃 ・衛生管理 ・PTSDへの対応	

18				
時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
11:24	多摩直下型	市民に対し、防	〈学級担任〉	
	震度7の地	災行政無線で,	①児童に防災頭巾を被らせ机の	海州市 海
	震発生。倒	地震の情報,火	下へ避難など安全確保(1次	選難所運営
	壊家屋多	の元の確認を周	避難)	→発災初期段階では, 教職員が中心的な役割
	数。京王線	知する(総合防	〈消火・巡視係〉	を担う (調布市立多摩
	運転見合わ	災安全課)	①給食調理員は、給食室の火気	川小学校避難所運営マ
	せ。市内全		の安全を確認し所定の役割担	コュアル)
	域で電気・		当に従事	
	ガス・上下		※学校長を学校災害本部長とし	,生活指導主任・学級担任24人で保
	水道供給停		護者の引き取りまで児童対応	。避難所開設・運営は副校長ほか5人
	止。道路は		と市職員2人で従事	
	通行不能又			
	は渋滞		〈避難誘導係〉	<u>学校と地域</u>
			①体育館の安全確認後,一旦体	→避難所運営は,避難者と
			育館に避難(2次避難)	地域の協力を得て実施。
			〈救護係〉	
			①児童の負傷状況の確認。応急	
			処置	
			<u>備蓄</u>	倉庫の鍵の確認
			$\left(\longrightarrow \exists \ \mid$	須から教職員も備蓄倉庫の鍵の
			所	在を把握しておく。(調布市立多
11:25	市内各駅,	①来庁者の安全	摩	川小学校避難所運営マニュアル)

滞留者多数 確保 地域支援者参集 ②業務停止 発生,負傷 校庭の区割り →初動要員 ③総合防災安全 者も多数。 →南門は, 負傷者搬入専用。正門 地区協議会 他 市内で火災 課は初動本部 は,物資搬入・搬出。校舎前は, 立ち上げ も発生 テントスペース。体育館前は, 炊き出し・配給スペース。(調 布市立多摩川小学校避難所運 営マニュアル) 校舎利用計画等の掲示 →事前準備してある避難所レイ アウト・校舎利用計画・案内 板を所定位置に掲示する。(こ の時点では, 体育館は児童で 一杯) トイレの問題 →携帯トイレを使用。 組み立てトイレは 校舎と体育館の間 11:30 ◆教室使用計画◆ に設置。汚物は体育 学童クラブ : 運営本部 ①庁内 · 各施設 館西側に穴を掘り ユーフォー : 授乳室教職員宿泊室 の安全確認 一時保管 ②市民を安全な 1 階教室 : 高齢者, 障害者 保健室 場所に移動さ : 応急処置室 せる 多目的室 : 簡易ベット ③災害対策教育 たまがわ若木学級:救護所 2階教室:乳幼児避難所 部設置 特記 水害発生 11:35 特記 多摩 避難所を閉鎖して、高台の避難所(富士見台小学校等)へ避 川による水 難する。その間がない時は、建物の2階以上に避難する。 害発生 児童対応班は、児童を安全な避難先に誘導し、その後は避難 (退避勧告) 先の責任者の指示に従って行動する。避難所支援班は、避難者 を安全な避難先に誘導し、その後は避難先の責任者の指示に従 う。情報連絡係は、学校安全・安心メールで引取先の変更を保 護者へ連絡する。 水害が発生しなかった場合は、引き続き以下の対応となる。 〈避難所係〉

11:40			
		初動期避難所運営組織の調	设置
	市民に対し、防	〈消火・巡視係〉	①避難者が駆け付け始まる。
	災行政無線で,	①校舎・教室等の安全確認後、	②地域の方,数人到着
	避難所開設を周	使用不可の教室がある場合に	
	知する(総合防	はその旨掲示。その後児童は	
	災安全課)	教室に移動。教員3人は,割	
		れたガラス等を除去する。	共通課題
		〈情報連絡係:副校長〉	→災害備蓄倉庫に2次へ。
		②災害ダイヤル, 学校 HP 掲示板,	ットボールを保管。今後学
		学校安全・安心メールで災害	校で保管可能か検討。
		保護者に対し児童の状況報告	受水槽の水の確保(直
		と引き取り依頼(<u>非常電源利</u>	結式でない学校)。
		<u>用</u>)	トイレは流さない。
			蛇口は開栓しない。
		共通課題	ZEATANIE O'AV ,
		/ →避難者の靴の保管	
		のためのビニール袋	
11:45	,	を備蓄品に追加する	〈避難所係〉
		必要あり。	①児童が体育館から教室に移動した
			のを確認してから、避難者をピロ
			ティから体育館に移動させる
			②要援護者の避難場所の整備
			情報収集
			→備蓄倉庫からラジ
			オを取りだし,情報
			収集する(調布FM /
			83.8M h z)
			救護所設置に伴い,1階多目的室に簡
12:00		〈避難所誘導係:学級担任〉	易ベッド搬入のためのスペースを確
		①保護者への引渡し始まる	保する。
		→児童の引渡しは,原則各教室	特別支援職員室を閉鎖し,特別支援教
		で、学級担任が責任をもって	室2部屋を診察室として確保する。
		<u>行う</u>	〈救護・衛生係〉
12:25	① 災害対策教		①軽いケガ人の応急処置を保健室で
	育部から避		養護教諭が対応。
	難所運営責		②避難者 700 人

	T T		
	任者(学務		
	課●●,	共通課題	救護所設置に伴う医師会
	●●) を派	→負傷者の対応養護教	<i>(</i> <u>の協力</u>
	遣	論だけでは不可能	→医師会からの派遣医師
			の人数は不明
			〈総務・情報係〉
12:30	① 市災対本部		①災対教育部に現況報告 (副校長)
	設置(総合	<u> </u>	第1次地域応援体制づくり
	防災安全	→指定の救護所(多	(地域の方々と相談する)
	課)	摩川小は,第五中	
		学校) への搬出 (重	
		傷者は杏林大学病	①災害対策教育部職員は,学校と協力
12:35	① 災害対策教	院,慈恵大学第三	して避難所運営に当たる
	育部 職 員	病院へ)	
	(●●, ●		多摩川小の代替施設
	●)到着		
			高校に余裕があれ
		避難所の運営につい	ば誘導。
		て協議	
		→学校長, 避難者で協	
	\	議し、避難所運営委	
		員会を作る。	
			〈避難所係〉
13:00	① 都立調布南	〈物資係〉	①避難者 800 人。多摩川小学校避難
	高校に避難	①児童に水を提供	所満員。
	誘導関始	(可能なら給食,牛乳提供)	②これ以降,他の施設への誘導を災害
	二	│ │ 〈情報連絡係〉	対策本部に連絡。
	学校から災害対策	校長または副校長は避難所運営	〈物資係〉
	教育部へ報告	 委員長に児童の状況を報告	①避難者に水を提供
	→防災行政無線で,		〈総務・情報係〉
	児童の状況・避難		避難者数・負傷者数など避難者の状
	者数(男女別)・負		況を避難所運営委員長に報告
	傷者数を 15:00,		②災対教育部に現況報告(副校長)
	17:00, 19:00, 21:00		
	(副校長担当)		情報提供(随時)
			
			オ) や掲示板で情報提供
			(調布FM83.8Mhz)
			(Mod. 14 1 14100:014111 7)

13:30			①児童引き取り率 5% 共通課題 →停電が継続した場合,懐中電灯では光源の確保が厳しい。 投光機やランタン 型懐中電灯の備蓄	共通課題 →学校医の協力確保〈救護・衛生係〉①避難所で死亡者発生。毛布で包みプール更衣室で一時保管
13:55		①市災害対策本		(市職員) ①到着した市職員は,避難所運営に
		部から職員5		<u>從事</u>
		人派遣		〈市職員〉
14:00		市職員到着		①市職員は、校庭に組立トイレ設置
				〈避難所係〉
15:00	震度 5 弱の	①市災対本部招	〈学級担任〉	①避難者の安全確認
	余震発生	集(総合防災	①児童に防災頭巾を被らせ机の	〈総務・情報係〉
		安全課)	下へ避難など安全確保 (1次	避難者数・負傷者数など避難者の状況
			避難)	を避難所運営委員長に報告
			〈情報連絡係〉	②災対教育部に現況報告 (副校長)
			校長または副校長は避難所運営	
			委員長に児童の状況を報告	/士啦号 #~次/5\
		共通認	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	〈市職員,物資係〉 ①備蓄倉庫の中の確認と使うと想定
			ール・惹起などの工具類も	される資機材を外に出す
		救助	活動に必要	

			①地域の方々と学校医到着
16:00			第2次地域応援体制づくり
		共通課題	(地域の方々と協力体制をつくる)
		 	
		合は,アルファ米は水	
		で作る。	
			7
			〈物資係〉
17:00		①児童引き取り率 20%	①食事提供の準備
		②教員は自分の子供の引き取	〈総務・情報係〉
		り,家族介護等で 40%帰宅	②災対教育部に現況報告 (副校長)
		地域の協力	
		→地域の協力を得	
		て、食事の提供	
		〈物資係〉	〈物資係〉
17:30		①児童約 557 人 (80%) に食事・	①避難者 600 人に食事・水を提供 (残
		水を提供	4900 食)
			避難者名簿作成
		<u>共通課題</u>	→避難者に名簿を記
		→備蓄毛布の不足が	入してもらう。
		見込まれる。災害対	
		策備蓄倉庫から搬	
		入。	〈総務・情報係〉
			①避難者名簿の作成
18:30			〈物資係〉
15.00			①毛布等の提供(備蓄 400 枚)
			- O GH 4 Y MM H 100 (K)
21:00	 ①市災対本部招	①児童引き取り率 40%	
21.00	集(総合防災	⟨情報連絡係⟩	〈総務・情報係〉
	安全課)	「情報建裕保/ 校長または副校長は避難所運営	でいる。
	久土味 <i>)</i>	校長または副校長は避難が連合 委員長に児童の状況を報告	世無有数・貝房有数なこ世無有の状況 を避難所運営委員長に報告
		安良以にル里ツ仏仏を報口	
			①災対教育部に現況報告(副校長)
Ì			

〈救護・衛生係、避難所係〉児	童・避難者の健康状態の確認
①児童引き取り率50% ②児童約350人教室に宿泊 ③教職員交代で2時まで仮眠	②市職員と地域の方の交代で2時まで仮眠
※ プール水は、火災発生の物	場合消火活動用に使う場合がある

時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00			①教職員交代で仮眠	①市職員と地域の方交代で仮眠
			《救護·衛生係,避難所係》児:	童・避難者の健康状態の確認
9:00		①市災対本部招	①児童引き取り率60%	
		集(総合防災	〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
		安全課)	校長または副校長は避難所運営	避難者数・負傷者数など避難者の状
			委員長に児童の状況を報告	況を避難所運営委員長に報告
				①災対教育部に現況報告 (副校長)
10:00			<u>共通課題</u> →遺体を総合体育館	①総合体育館へ遺体の搬出
			への運搬体制(災害	
			対策福祉健康部福祉	
			班が担当)	
11:00			〈情報連絡係〉	〈物資係〉
			校長または副校長は避難所運営	①食事提供の準備
			委員長に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉
				避難者数・負傷者数など避難者の状
				況を避難所運営委員長に報告
				①災対教育部に現況報告(副校長)
11:24	24 時間経過			
11:30			〈物資係〉	〈物資係〉
			①児童約 278 人に食事と水を提	①避難者 400 人に食事・水を提供 (残
			供	4200 食)
13:00				〈総務・情報係〉
			〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数など避難者の状

		T	Т
		校長または副校長は避難所運営	況を避難所運営委員長に報告
		委員長に児童の状況を報告	①災対教育部に現況報告(副校長)
15:00			〈総務・情報係〉
		〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数など避難者の状
		校長または副校長は避難所運営	況を避難所運営委員長に報告
		委員長に児童の状況を報告	①災対教育部に現況報告 (副校長)
17:00			〈物資係〉
		①児童引き取り率 70%	①食事提供の準備
		〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
		校長または副校長は避難所運営	避難者数・負傷者数など避難者の状
		委員長に児童の状況を報告	況を避難所運営委員長に報告
			①災対教育部に現況報告 (副校長)
17:30			〈物資係〉
		〈物資係〉	①避難者 400 人に食事・水を提供 (残
		①児童約 209 人に食事と水を提	3600 食)
		供	
21:00	①市災対本部招		〈総務・情報係〉
	集(総合防災		避難者数・負傷者数など避難者の状
	安全課)	〈情報連絡係〉	況を避難所運営委員長に報告
		校長または副校長は避難所運営	①災対教育部に現況報告 (副校長)
		委員長に児童の状況を報告	
22:00		〈救護・衛生係、避難所係〉児	童・避難者の健康状態の確認者
			負傷等迎えに来られず)避難者 400
		①児童引き取り率80%	人
		②児童約 140 人宿泊	②市職員と地域の方交代で2時まで
		③教職員交代で2時まで仮眠	仮眠

時間	状	況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00				①交代で仮眠	①交代で仮眠
				〈救護・衛生係、避難所係〉児	童・避難者の健康状態の確認
9:00			①市災対本部招	〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉

		集(総合防災	校長または副校長は避難所運営	避難者数・負傷者数など避難者の状
		安全課)	委員長に児童の状況を報告	況を避難所運営委員長に報告
				①災対教育部に現況報告 (副校長)
				児童約 140 人 (20%の児童は保護者
				負傷等迎えに来られず)避難者 400
				人
11:00			〈情報連絡係〉	〈物資係〉
			校長または副校長は避難所運営	①食事提供の準備
			委員長に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉
				避難者数・負傷者数など避難者の状
				況を避難所運営委員長に報告
11:24	48 時間経過			①災対教育部に現況報告 (副校長)
11:30			〈物資係〉	〈物資係〉
			①児童約 140 人に食事と水を提	①避難者 400 人に食事・水を提供 (残
			供	3080 食)
13:00				〈総務・情報係〉
			〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数など避難者の状
			校長または副校長は避難所運営	況を避難所運営委員長に報告
			委員長に児童の状況を報告	①災対教育部に現況報告 (副校長)
15:00				〈総務・情報係〉
			〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数など避難者の状
			校長または副校長は避難所運営	況を避難所運営委員長に報告
			委員長に児童の状況を報告	①災対教育部に現況報告 (副校長)
				トイレの使用状況確認
				汚物処理点検
17:00				〈物資係〉
			〈情報連絡係〉	①食事提供の準備
			校長または副校長は避難所運営	〈総務・情報係〉
			委員長に児童の状況を報告	避難者数・負傷者数など避難者の状
				況を避難所運営委員長に報告
				①災対教育部に現況報告 (副校長)
17:30				〈物資係〉
<u> </u>				ı

	Г		T
		〈物資係〉	①避難者 400 人,応援の地域方々等
		①児童約70人に食事と水を提供	食事・水を提供(残 2620 食)
			ゴミの回収・処理
			避難所運営の評価
19:00			〈総務・情報係〉
		〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数など避難者の状
		校長または副校長は避難所運営	況を避難所運営委員長に報告
		委員長に児童の状況を報告	①災対教育部に現況報告 (副校長)
21:00	①市災対本部招		総務・情報係〉
	集(総合防災	〈情報連絡係〉	避難者数・負傷者数など避難者の状
	安全課)	校長または副校長は避難所運営	況を避難所運営委員長に報告
		委員長に児童の状況を報告	①災対教育部に現況報告(副校長)
22:00		〈救護・衛生係、避難所係〉児童・避難者の健康状態の確認	
			①児童約70人(保護者負傷等で迎え
		①児童引き取り率 90%	に来られず) 避難者 400 人
		②児童約70人宿泊	②市職員と地域の方の交代で仮眠
		③教職員交代で仮眠	

時間	状 況	調布市の対応	児童への対応	避難所対応
2:00			①交代で仮眠	①交代で仮眠
9:00		①市災対本部招 集(総合防災	〈救護・衛生係、避難所係〉児童・避難者の健康状態の確認	
		安全課)	〈情報連絡係〉	〈総務・情報係〉
			校長または副校長は避難所運営	避難者数・負傷者数など避難者の状
			委員長に児童の状況を報告	況を避難所運営委員長に報告
				①災対教育部に現況報告 (副校長)
				児童 60 人(10%の児童は保護者負
				傷等迎えに来られず)避難 400 人
11:00			〈情報連絡係〉	〈物資係〉
			校長または副校長は避難所運営	①食事提供の準備
			委員長に児童の状況を報告	〈総務・情報係〉
				避難者数・負傷者数など避難者の状
				況を避難所運営委員長に報告
				①災対教育部に現況報告(副校長)
11:24	72 時間経過			避難所運営の評価

		今後の見通しを話し合う

多摩川小学校の課題

- ①収容人員がいっぱいにのとき,近隣の都立調布南高校と連携を図る。都立調布南高校がいっぱいの場合は災害対策本部の指示に従う。
- ②多摩川による水害が発生したら、浸水害が想定される。その場合は富士見台小学校に避難する。
- 資料 調布市立多摩川小学校教室配置および避難所配置図 (教室使用案内・避難所レイアウト・案内板等掲示位置)
 - ※ 資料は学校が作成し保管しています。